

嚥下通信

Vol.25

嶋田病院 摂食嚥下研究会

テーマ

摂食嚥下研究会の取り組みを
知ってください！

摂食嚥下研究会とは？

摂食嚥下（口から食べる）について各専門職の知識、技術を高め、当院の摂食嚥下障害に対する課題の抽出・分析・対策を講じる多職種チームです。

【構成メンバー】

医師（歯科医師）、看護師、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、診療放射線技師



どんな活動を行っているの？

●摂食嚥下支援カンファレンス（週1回）



摂食嚥下に問題のある入院患者を対象に、歯科医師、管理栄養士、看護師、リハビリスタッフなど多職種が専門性を活かしながら、**口から食べる能力の改善を目指し**ディスカッションを行っています。食器の選定や食事時の姿勢調整など、患者様の状態に合わせて**より具体的な支援**を行うことができます。

●口腔ラウンド（週1回）

口腔内に問題を抱えている入院患者を対象に、歯科医師を中心に多職種で実施しています。**口腔内環境を整え 摂食嚥下機能の向上や誤嚥性肺炎などの合併症を予防する**目的があります。また、口腔内環境が不良な方に対し、歯科医師より口腔ケアや歯科治療に関する助言・指導を行います。当院では2019年11月より開始し、3年以上継続して実施しています。

●嚥下にかかわる検査の推進

当院の嚥下造影検査の件数は年間平均78件と、**摂食嚥下障害の迅速な分析や、リハビリの効果測定を行える環境を整えています**。また年に一度、院内職員向けに検査の体験会を開き、検査への理解を深めてもらう活動を行っています。



紹介した活動のほかにも・・・

- ・セッティング表の作成
- ・ZOOMなどを利用したWeb評価
- ・車椅子やベッド用の「オリジナル角度計」の作成と活用
- ・「滑り止め付きおぼん」など院内で使用する自助食器や食具の選定など、摂食嚥下に関する様々な取り組みを行っています。活動に関するご質問やご意見がありましたら摂食嚥下研究会にお声かけ下さい。

言語聴覚士 福田・加藤

掲示許可シール
貼付スペース